

平成25年9月12日
於
府中市立教育センター

平成25年第9回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成25年第9回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成25年9月12日(木)
午後1時30分
閉 会 平成25年9月12日(木)
午後2時34分
- 2 会議録署名員
委 員 村 越 ひろみ
委 員 松 本 良 幸
- 3 出席委員
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史
教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 酒 井 利 彦
三田村 裕 ふるさと文化財課長 江 口 桂
総務課長 澁 谷 智 ふるさと文化財課長補佐 黒 沢 明 美
総務課長補佐 北 村 均 生涯学習スポーツ課長 矢ヶ崎 幸 夫
学務保健課長 中 村 孝 一 生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹
給食担当主幹 須 恵 正 之 古 田 実
学務保健課長補佐 山 田 晶 子 国体推進室長 山 下 隆 久
指導室長補佐 古 塩 智 之 美術館副館長 山 村 仁 志
相談担当副主幹 阿 部 憲 靖
指導主事 大 津 嘉 則
指導主事 山 本 勝 敏
指導主事 三 田 暢 夫
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 熊 坂 奈 美
総務課事務職員 山 田 大 輔

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第5 報告・連絡

- (1) 寄付の採納及び感謝状の贈呈について
- (2) 平成25年度日光林間学校実施結果について
- (3) 平成25年度「府中の教育を語る会」について
- (4) 周年記念式典教育委員会あいさつについて（南白糸台小学校）
- (5) 「第4回国際科学映像祭ドームフェスタ in 府中市郷土の森博物館プラネタリウム」について
- (6) 府中市スポーツ推進計画（案）のパブリックコメント実施について
- (7) 第17回みんなのスポーツdayの開催について
- (8) 「府中の森の文化まつり」開催について
- (9) スポーツ祭東京2013府中市炬火採火式及び炬火リレーの実施について
- (10) スポーツ祭東京2013公立小中学校応援観戦計画表について

第6 その他

第7 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（崎山 弘君） ただいまより、平成25年第9回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 本日の会議録署名員は、村越委員と松本委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

◎傍聴許可

○委員長（崎山 弘君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 本日は、議案の審議はございません。

_____ ◇ _____

◎報告・連絡（1） 寄付の採納及び感謝状の贈呈について

○委員長（崎山 弘君） 報告・連絡から始めさせていただきます。

報告・連絡の（1）について、総務課、お願いいたします。

○総務課長補佐（北村 均君） それでは、資料1の寄付の採納及び感謝状の贈呈についてご報告いたします。

今回は3件でございます。いずれも周年記念に当たりまして、学校教育活動の一層の充実、発展を図るために寄付されたものでございます。

1件目につきまして、寄付の採納先は、府中市立府中第十小学校でございます。寄付品は折りたたみ式ひな壇1組、52万5,000円でございます。寄付者は、創立50周年記念事業実行委員会委員長、渡邊晶様で、受領日は平成25年8月15日でございます。

2件目につきまして、寄付の採納先は、府中市立府中第三小学校でございます。寄付品は、雲梯1台、50万円、司会者台1台、6万2,300円でございます。寄付者は、創立50周年記念事業実行委員会及び府中第三小学校PTAで、受領日は平成25年8月15日でございます。

3件目につきましては、寄付の採納先は、府中市立小柳小学校でございます。寄付品はアルミワンタッチテント1張、22万710円でございます。寄付者は、日本中央競馬会東京競馬場 場長、増田知之様で、受領日は平成25年9月3日でございます。

府中市教育委員会表彰規程第10条の規定によりまして、委員会が適当と認めるときは感謝状を贈呈できることとなっておりますので、寄付者に感謝状を贈呈したいと考えております。

なお、府中市立府中第十小学校に寄付されました創立50周年記念事業実行委員会委員長、渡邊晶様につきましては、感謝状の受け取りをご辞退されているため、感謝状の贈呈は行いません。

以上でございます。どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡の（１）について了承いたしました。



◎報告・連絡（２）平成２５年度日光林間学校実施結果について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（２）について、学務保健課、お願いいたします。

○学務保健課長補佐（山田晶子君） それでは、資料２に基づき、平成２５年度日光林間学校実施結果についてご報告いたします。

日光林間学校は、小学校全２２校の６年生を対象に、７月２１日から８月１０日の間に実施いたしました。教育委員の方々には、８月６日、７日の視察で、子供たちの食事の様子やキャンプファイヤー、華厳の滝などの見学場所をご覧いただくとともに、ハイキングにも一部同行していただきました。

今年は、日光東照宮の一部で改修・修復工事中のため見学できない箇所もありましたが、技術者による実際の修復作業風景など、例年と異なる東照宮の様子を見学いたしました。

また、他市の小学校からハイキングコースで熊を見かけたという情報が入り、熊よけの鈴をつけるなど、各校で安全確保のための対応をとっていただきました。

裏面をご覧ください。

参加状況についてでございますが、参加人数は２，１９９人で、在籍数２，２１９人に対し、参加率は９９．１％でございます。過去１０年間で２番目に多い参加率となりました。

不参加状況でございますが、２０人の児童が不参加となりました。不参加の理由といたしましては、校外の文化・スポーツ活動への参加や学校不適應などによる家庭の事情や私用が１２人で一番多く、続いて、骨折を含む体調不良が６人、大会参加など、その他の理由は２人ございました。

実施期間中、大きな事故やけが等はございませんでしたが、発熱で６人が日光市民病院などで治療を受けております。

林間学校終了後、５年生で４泊５日のセカンドスクールを経験したことで、林間学校での子供たちの行動に自信と余裕が見られたという感想を学校からいただきました。

報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

私から１件、前回もちょっとお伺いしたかもしれませんが、日光林間学校について、参加費の未納者というのはいますか。

○学務保健課長（中村孝一君） 調査等はしておりませんが、未納というのがあるという話は特に聞いておりません。

○委員長（崎山 弘君） ありがとうございます。

ほかに何かご質問、ご意見ありませんか。

では、報告・連絡の（２）について了承いたします。



◎報告・連絡（３）平成２５年度「府中の教育を語る会」について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（３）について、指導室、お願いいたしま

す。

○指導主事（大津嘉則君） 平成25年度「府中の教育を語る会」の実施について、資料3に基づきましてご説明します。

目的につきましては、東京都では11月の第1土曜日を「東京都教育の日」と定めており、都民の教育への関心を高め、教育に関する取り組みを都全体で推進し、その充実と発展を図っています。

府中市においても、「府中市学校教育プラン21」に基づき、教育の日として、市民へ教育に対する関心を高め、子供たちの教育について、保護者、地域、学校、教育委員会とともに考える機会として「府中の教育を語る会」を実施するものでございます。

開催日時は、平成25年11月2日土曜日、午後2時30分から午後4時30分までの2時間を予定しています。

会場は、昨年度と同じ生涯学習センター講堂になります。

今年度のテーマは、「魅力ある学校生活を目指して—いじめのない学校、いじめを絶対許さない—」と設定しました。「魅力ある学校生活を目指すために」に関する学校における実践報告と講演を聞くことを通して、いじめの解決法や予防法について理解することにより、府中市全体で「いじめを絶対に許さない」という風土づくりを目指すことを趣旨としてテーマを設定しました。

当日の流れについては、開会あいさつ、趣旨説明、実践報告では、小学校1校、中学校生徒会リーダー研修会の2グループの発表、講演では、講師として、帝京科学大学教授、有村久春先生をお招きして、今回のテーマについてご講演いただきます。

参加予定者として、市内小・中学校教員、保護者、児童・生徒、地域関係者等、参加については、参加費は無料で、会場の収容人数である250名以内であります。

周知の方法については、校長会等での連絡、家庭へのチラシ送付、PTA連合会への連絡を予定しております。

教育委員の皆様におかれましても、お忙しい中と存じますが、ご都合をつけていただき、ご参加いただけると幸いです。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

特に問題ございませんか。どうぞ。

○委員（齋藤裕吉君） 毎年、「府中の教育を語る会」を実施していただいておりますけれども、昨年度は参加者がどの程度おりましたか、ちょっとわかれば確認しておきたいのですが。

○指導主事（大津嘉則君） 人数が手元にちょっとございませんので、後で調べてお答えいたしますので、よろしくお願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） わかりました。

このテーマは非常に大事なテーマで、今どこの場所でも、またどの学校でも、真剣に取り組まなければならない、そういう内容でありますので、ぜひ、今、それぞれの方法等、お話がありましたけれども、積極的な呼びかけをしていただいて、多くの参加者が得られる成果のある会にさせていただきたいという気持ちで、ちょっとそういう質問をさせていただいたわけです。

よろしく願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡の(3)について了承いたしました。



◎報告・連絡(4)周年記念式典教育委員会あいさつについて

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(4)について、指導室、お願いいたします。

○指導主事(大津嘉則君) 周年記念式典教育委員会のあいさつについて、南白糸台小学校のあいさつ文について読み上げさせていただきます。

「お祝いのことば」

本日ここに、府中市立南白糸台小学校が創立40周年を迎え、晴れやかに記念式典が挙行されますことは、誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

南白糸台小学校は、昭和48年4月に、市内で19校目の市立小学校として開校しました。

武蔵野の緑豊かな自然と、多摩川の流に囲まれた恵まれた環境は、校歌の中で「幸が森」と歌われています。「人々や地域、自然とかかわることができる力を育む」という「幸が森教育」の精神は現在も受け継がれ、21世紀の国際社会に生きる意欲をもち知・徳・体の調和のとれた「南白の子」の育成のために学校と家庭・地域が連携して教育を推進しております。

平成22年・23年度には、府中市教育委員会研究協力校として「心の教育の充実」に向け、道徳の時間の指導法改善をテーマに研究に取り組みました。その成果を基盤にさらに充実・発展させるために、本年度も道徳の時間の授業を要として、教育活動全体を通して「命の大切さ」「思いやり」「規範意識の醸成」など、自分も人も大切にする「心の教育」の充実を努めております。このような取組みは、歴代の校長先生をはじめ、教職員の方々のご努力と、保護者・地域の皆様のご理解とご支援の賜であると心から感謝申し上げます。

さて、児童の皆さん、今日は南白糸台小学校の40周年を祝う日です。この40年間、南白糸台小学校で学んできた多くの先輩や、先生方もきっと喜んでのことと思います。ここに集う児童や先生方は年とともに変わります。しかし、校歌は今も、そしてこれからも歌い続けられ「幸が森教育」の理念は、変わることなく引き継がれていき、南白糸台小学校の歴史と伝統となります。これらを大切にしてください。思いを新たに未来へと続く南白糸台小学校を創って行ってください。

校歌には、「いつも明るく自分から 何でもすすんで学ぼうよ」「みんな強くてたくましい 心とからだ やしなおう」「生きるよろこび分かち合い 多摩の流れとあゆもうよ」とあります。この歌詞は、自然豊かな地に建つこの学校で、明るく自分からすすんで学び、たくましく、人にやさしく、共に仲よく生きていってほしいという願いを歌ったものです。このような理想を追い求め、これからも「誇りをもてるふるさと府中を創り、世界で活躍する府中っ子」に成長することを心から期待しています。

結びになりますが、創立40周年を契機として、本校が地域に根ざした学校として、ますます発展することを祈念しますとともに、ご列席の皆様方をはじめとしまして、これまで特

段のご理解・ご協力を賜りました多くの方々に、深く感謝申し上げ、挨拶とします。

平成25年10月25日

府中市教育委員会

よろしく願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいま読み上げていただきました南白糸台小学校の創立記念式典でのお祝いの言葉です。何かご質問、ご意見などございますでしょうか。あるいは聞いてわからなかったこと。

よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の(4)について了承いたします。



◎報告・連絡(5) 「第4回国際科学映像祭ドームフェスタ in 府中市郷土の森博物館
プラネタリウム」について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(5)について、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐(黒沢明美君) それでは、ふるさと文化財課から、「第4回国際科学映像祭ドームフェスタ in 府中市郷土の森博物館プラネタリウム」につきまして、資料5に基づいてご報告いたします。

平成22年から開催され今年で第4回を迎える国際科学映像祭は、良質な科学映像コンテンツを広く国内外に紹介し、多くの人々に見ていただく機会を提供するとともに、コンテンツや技術開発にかかわる人たちの情報交換及び科学映像クリエイターの発表の場として開催されるものでございます。

今年、茨城県日立市で、国内外のドーム映像作品を一堂に会して上映するドームフェスタが開催されます。映画祭参加作品の中から選りすぐりの作品をサテライト会場である郷土の森博物館プラネタリウムで上映いたします。

会期は9月14日土曜日、15日日曜日の2日間で、定員は、両日とも先着240名、観覧料は無料でございます。

大自然の美しさや科学の神秘に臨場感のあるドーム映像が驚きと感動を与えるものとなっておりますので、ぜひこの機会に最新の科学映像を多くの方にご覧いただきたいと存じます。

報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。松本委員。

○委員(松本良幸君) これは、スポットでの開催ということで、おもしろそうな題材なのですが、今後また、府中市に材料を貸してもらおうとか、そういう予定はあるのでしょうか。

○ふるさと文化財課長補佐(黒沢明美君) 今回が4回目で、1回目、2回目が、やはり郷土の森博物館のプラネタリウムで開催しております。そのころはサテライトというものではなくて1カ所で行っていたのですが、やはり全国的なプラネタリウムのある施設から、どうしてもうちでということだんだん増えてまいりました。ですので、今後も、こういう形で実施できるものと思っております。

○委員長(崎山 弘君) よろしいですか。スポットというか、この日付だけということにな

るわけですね。ほかの日に、この題材で上映される可能性は低い、ないということでしょうか。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） そうでございます。

○委員長（崎山 弘君） では、齋藤委員。

○委員（齋藤裕吉君） 映像祭ということで、テーマ自体は非常に興味があっておもしろそうだなという感じがしますけれども、この映像というのは、動かない映像、映画ではないということですか。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） 動く動画でございます。

○委員（齋藤裕吉君） そうですか。わかりました。映画なのですね。

プラネタリウムの投影機器を最新のものにするというのは、なかなか膨大な予算がかかって大変かとは思いますが、このような立体的、360度パノラマの映画という発想を今後どんどん取り入れていくといいのではないかと、このチラシを事前にいただいて思っていたわけです。ぜひ、この映像祭を成功させていただきたいと思うと同時に、あと、こういうアイデアというのでしょうか、これも今後使っていけるのではないかとというようなことを思いました。

ちょっと感想めいた発言でございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見、ご質問ございませんか。

この宣伝は、各学校にも送られているわけでしょうか。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） チラシはお配りしていませんが、ポスターと、それから、校長会でご報告させていただきました。

○委員長（崎山 弘君） 確かに、小学生、中学生ぐらいでもなかなか楽しめそうなテーマだと思いますので、ぜひ子供たちにも宣伝していただきたいと思います。

ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

では、報告・連絡の（5）について了承いたします。



◎報告・連絡（6）府中市スポーツ推進計画（案）のパブリックコメント実施について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（6）について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹（古田 実君） それでは、生涯学習スポーツ課より、お手元の資料6に基づき、府中市スポーツ推進計画（案）のパブリックコメント実施についてご報告いたします。

本市では、平成17年度に現行の府中市スポーツ振興推進計画を策定し、市民スポーツ振興に取り組んでまいりました。この計画の期間は8年間の計画としており、本年度が最終年度となるため、平成26年度以降の新たな計画を策定するため、府中市スポーツ推進計画検討協議会で検討を進めております。

このたび、協議会から中間報告がありましたので、この報告内容を計画原案とし、市政情報センター、各文化センター等で公開して、パブリックコメントを実施いたします。パブリックコメントの実施に当たっては、9月21日発行の広報やホームページ等で広く市民の皆様にお知らせするものでございます。

募集期間は9月24日から10月24日までといたします。

計画案の取り組み内容につきましては大きく2つに分かれます。重点的な取り組み項目と施策の展開と具体的な取り組みとなります。

まず、(1)重点的な取り組み項目ですが、恐れ入ります、15ページをご覧ください。計画の体系で掲げた基本理念「健康で元気なまちづくり～地域に根差した「スポーツタウン府中」の発展～」をもとに、基本姿勢や推進体制を踏まえ、重点的かつ優先的に実施すべき事業として捉え、資料6に記載の4つの項目の内容について記載しております。

次に、(2)の施策の展開と具体的な取り組みは、今ほどご説明いたしました計画の体系で掲げる基本理念、視点、推進体制を実現するために、記載の3項目の施策に基づき、具体的な取り組み内容について記載しております。

今後の予定ですが、意見募集締め切りが10月24日、以降の予定につきましては、記載のとおりでございます。

以上で報告を終わります。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

では、先に私から質問。かなり長期の計画となるわけですが、この計画を立てる段階では、当然、東京オリンピックの開催はまだ決まっていなかったわけですが、オリンピックの開催に関して府中市も少しかかわっているのですか。ちょっとわからないのですけれども、何かかわるのであれば、それがこの計画の中にも何か入ってきたほうが、わくわくするような計画になるような気がするのですが、まだ、これからパブリックコメントを経て正式決定されるに当たって、多分パブリックコメントの中でもそういう話が出てくるのではないかと思います、もし出てきましたら、章立てを変えるほどの大きな変更はできないにしても、何かオリンピックについて一言言及されるほうがよりいいのではないかと。そういう可能性もありますということぐらいはあらかじめ出してから、パブリックコメントを募集してもよいのかなと思いますが、いかがでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹(古田 実君) まず、先日の2020年東京オリンピック招致決定ということで、私どもも大変喜ばしく思っているところでございます。

今の委員長さんからのご質問でございますが、ページにすると4ページのところになりますが、一応、計画の期間については記載のとおりとなっておりますが、計画期間内であっても、新たに計画に盛り込むべき事案が発生した場合は、それに応じてという形で、今後いろいろなケースが考えられると思いますので、そういった中で対応等は考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○生涯学習スポーツ課長(矢ヶ崎幸夫君) 補足で申しわけございませんが、今後行いますパブリックコメントが、10月24日まで行うわけですが、今回の検討協議会からの報告内容は、こちらにも記載のとおり中間報告という形になっております。パブリックコメントでそういった市民からのご意見等をいただいた場合には、またもう一度、今後、11月、12月にも検討協議会の開催を予定しておりますので、そちらのほうでそういったご意見等をどこまで反映するかどうかといったところも含めまして、再度協議いただくものと考えております。

また、ページといたしましては21ページになりますが、直接オリンピックというような形の踏み込んだ記載まではしてありませんが、パブリックビューの実施ですとか、スポーツツア一実施の検討ですとか、こういった形で、スポーツをするだけでなく、見るスポーツといった視点から計画のほうに記載しているところがございます。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。松本委員。

○委員(松本良幸君) 全部読んでいる時間が今なかったのであれなのですが、基本的には、これは、要はトップアスリートを養成するとかというよりは、どちらかと言えば、府中市全体の、市民が楽しみながらということに対する目標というか計画というのがメインという考え方でよろしいでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹(古田 実君) おっしゃるとおりでございます、この計画の趣旨は、市民スポーツの振興ということで考えてございます。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

スポーツというのは、心身の健康に非常にプラスに作用するものですから、ぜひ、これは市民が、あるいは子供たちもそうですけれども、楽しんでスポーツに参加できるように、こういう計画を作成したいと思います。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の(6)について了承いたします。



◎報告・連絡(7) 第17回みんなのスポーツdayの開催について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(7)について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹(古田 実君) それでは、引き続き、生涯学習スポーツ課より、第17回みんなのスポーツdayの開催につきましてご報告いたします。お手元の資料7をご覧ください。

10月14日の体育の日にふさわしく、多くの市民がスポーツにいそむききっかけとなるよう、各地域体育館を無料開放し、ニュースポーツに触れていただく機会を提供するほか、特別企画を開催いたします。

チラシの裏面をご覧ください。記載のとおり、各地域体育館では、午前と午後にわたり、ラリーテニスなどのニュースポーツを実際に体験していただいたり、特別企画として、出演団体のご協力のもと、ダンスや新体操などの演技を披露していただく予定となっております。

このみんなのスポーツdayは、スポーツ推進員と各地域体育館の運営協議会委員との共同により企画・運営しているところがございます。各地域体育館におきまして、それぞれが特色ある内容となっております。参加費は、地域体育館なのですべて無料となっておりますので、ぜひ、この機会にお近くの会場まで足を運んでいただきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の（７）について了承いたします。



◎報告・連絡（８）「府中の森の文化まつり」開催について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（８）について、美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（山村仁志君） それでは、「府中の森の文化まつり２０１３」につきまして、美術館より、このチラシにより報告いたします。資料８のチラシをご覧ください。

１０月１４日月曜日・祝日に、都立府中の森公園の文化ゾーンとする美術館、生涯学習センター、都立府中の森公園、そして芸術劇場の４施設共同企画により、「府中の森の文化まつり２０１３」を開催いたします。

チラシをお開きください。美術館では、企画展覧会「ウィリアム・モリス」展の無料観覧をはじめ、ポスタープレゼント、ウィリアム・モリス&ブックフェア２０１３、みず絵とすみ絵のおもしろワークショップなどを実施し、生涯学習センターでは、無料の公開講座「古くて新しい東洋医学の実力」「身近な経済学入門」を実施、また、模擬店やレストランで特別メニューをお出しします。都立府中の森公園では、音楽ライブ、モリノキッズ★探検ガイドウォーク、彫刻ガイドツアーと彫刻クイズ、そしてどんぐりのプレイコーナーなどを開催します。さらに、芸術劇場では、「ウィーンホールへの招待」と題しまして、オーケストラとパイプオルガンのコンサートの無料公演、さらに、キッズワークショップとアートマーケットを実施いたします。

裏面をご覧ください。また、この４つの施設をめぐる４施設スタンプラリーも予定しております。

この機会に、多摩有数の文化ゾーンとして府中の森公園を内外にもっと知っていただくとする手づくりの企画でございます。府中の森の文化・学習施設、美術、音楽、生涯学習と市民が文化の豊かさを実感できる企画をしています。多くの市民と子供たちにも来ていただきたいと思っております。

以上で報告を終わります。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

特にないようですので、では、報告・連絡の（８）について了承いたします。



◎報告・連絡（９）スポーツ祭東京２０１３府中市炬火採火式及び炬火リレーの実施について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡（９）について、国体推進室、お願いいたします。

○国体推進室長（山下隆久君） それでは、資料９、スポーツ祭東京２０１３府中市炬火採火式及び炬火リレーの実施につきまして、お手元の資料に基づきご報告いたします。

スポーツ祭東京２０１３の開幕まで、残すところ１６日となりました。そこで、このたび、大会開幕前のラストスパートといたしまして、府中市炬火採火式及び炬火リレーを実施するものでございます。

炬火とはオリンピックで言う聖火のことで、炬火の採火は、国体正式競技の開催地が実施す

ることとなっております。この採火した炬火は、市内全域をリレーした後、総合開閉会式の会場である味の素スタジアムの炬火台に点火され、東日本大震災からの復興を祈念するとともにスポーツ祭東京2013のシンボルとして、17日間にわたり選手の活躍を見守るものでございます。

炬火採火式及び炬火リレーは、すべて特定非営利活動法人府中市体育協会に事業委託をし、実施するもので、9月23日祝日の午後零時5分から、大国魂神社境内でオープニング演奏会を行った後に、午後1時40分から炬火採火式を、午後2時から炬火リレーをスタートいたします。

なお、この炬火リレーは、都内の区市町村で開催する炬火リレーの中では最大規模で実施するもので、本市におきましては、小学5年生以上の市民ランナー総勢325人にご参加いただき、市内全域を一つの火でつないでまいります。ランナーがお近くを通過する際には、ぜひ沿道に出て、大きなご声援のほどをよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの説明につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。村越委員。

○委員(村越ひろみ君) すみません、走らせていただくので聞きますが、325名をどのように割り振られるのか、ちょっと伺いたいのですが。

○国体推進室長(山下隆久君) この割り振りににつきましては、体育協会のほうで選別をしておりますが、なるべくご自宅に近いところで、身内の方が応援しやすいような配慮も行ってまいります。

以上です。

○委員(村越ひろみ君) ありがとうございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご質問、ご意見ございませんか。齋藤委員。

○委員(齋藤裕吉君) 市民ランナーということで、これは大人が対象という編成になっておるのですか。

○国体推進室長(山下隆久君) ランナーにつきましては、半数以上が小学生と中学生の、特に部活を中心とした方々にも声をかけて編成しておりますので、ほぼ半分近くは学生の方がいるということになります。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

では、報告・連絡の(9)について了承いたします。

_____ ◇ _____

◎報告・連絡(10) スポーツ祭東京2013公立小中学校応援観戦計画表について

○委員長(崎山 弘君) 続きまして、報告・連絡(10)について、同じく国体推進室、お願いします。

○国体推進室長(山下隆久君) それでは、資料10、スポーツ祭東京2013応援観戦の実施につきまして、お手元の資料に基づきご説明申し上げます。

いよいよ開幕いたします国内最大のスポーツの祭典、スポーツ祭東京2013の実施に当た

り、全国から府中市を訪れる選手や監督、観覧者等を温かいおもてなしの心でお迎えするため、これまですべての小学校、中学校で歓迎ののぼり旗や横断幕の作成、会場などに装飾いたします。花のプランターの育成など、さまざまな歓迎活動にご協力いただいているところでございますが、さらに、このたび大会の開催を契機に、児童・生徒に夢や感動を与え、豊かな心を育むとともに、社会性の育成やスポーツへの意欲の向上につなげるため、同じくすべての小・中学校におきまして応援観戦を実施いただくものでございます。

応援観戦は、9月30日月曜日から10月4日金曜日までの平日のみ実施することとし、期間中は合計で6,626人の生徒・児童が観戦いたします。

なお、各学校と競技会場の移動につきましては、競技会場に近い一部の学校を除きまして、当実行委員会が用意いたします大型バスにより輸送するものでございます。

なお、追加でお配りいたしましたこちらの資料は、大会期間中に選手や監督、大会関係者が食べます府中市オリジナルのお弁当のパッケージプランでございまして、上ぶたのイラストは、昨年度実施いたしましたスポーツ祭東京2013ポスターコンクールの弁当容器部門で見事優秀賞に輝いた住吉小学校4年生の藤原麻衣さんの作品となっております。

また、10月5日土曜日に郷土の森総合体育館で開催いたしますデモンストラーションとしてのスポーツ行事であるダブルダッチ種目につきましては、市内の小・中学校より9チームがご参加いただくことになってございます。ぜひ、会場にお越しいただき、ご声援くださいますよう、よろしくお願いいたします。

このほか、資料はございませんが、全国から訪れる大会関係者や観覧者を温かくお迎えするため、9月20日金曜日に、けやき並木通りから市民球場まで、また、21日土曜日は、西部多摩川線の多磨駅ロータリー前から朝日サッカー場までの間を、スポーツ祭東京2013クリーンアップ運動といたしまして、市民の皆様にご参加いただき、清掃活動を実施いたします。

さらに、府中市美術館におきましては、9月23日祝日から28日の土曜日まで、ゆりーと展覧会と題しまして、先ほど少し触れましたが、昨年度実施いたしましたスポーツ祭東京2013ポスターコンクールの応募作品の一部なども展示し、また、これまで当実行委員会で作成いたしました啓発物品等々の展示も行います。こちらもぜひご覧いただきますよう、よろしくお願いいたします。

報告は以上でございますが、本日は、スポーツ祭東京2013開幕前の最後の教育委員会となりますので、この場をおかりし、改めまして委員の皆様方に、これまで開会準備へのご協力、ご理解に感謝申し上げます。ありがとうございました。

国体推進室といたしましては、いよいよ50年ぶりに開幕いたします国体、スポーツ祭東京2013に、皆様のお力をおかりし、一丸となって大会を成功に導きたいと存じますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では、私のほうから。この各小学校、中学校が観戦に行くということだと思っておりますけれども、どれぐらいの時間、競技によって、開催する時間帯によるのでしょうか、最大でどれぐら

いの時間を想定されているのでしょうか。

○国体推進室長（山下隆久君） 各学校におきましては、主に事前にアンケートをとりまして、小学校におきましては午前中をメインに2時間授業の中で応援に行っていただきます。バスの輸送を入れましても、来ていただいて1時間ほど見ていただくと、往復で2時間近くかかってしまうということもありますので、その辺の配慮をいただいております。午後は、主に中学生をメインに考えてございます。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） そうすると、1時間2回行かれるということですが、実数の関係で、そういうものというのは、学校のほうでは、例えば体育に相当させるとか、当然観戦するというのも1つ、今回のオリンピックでも「おもてなし」という言葉が出てきましたが、その確保に関しては、以前から、各国体に関してはそういう取扱いもしているぐらいですから、これも一つの教育の一環として扱うならば、何か授業日数に相当させるような配慮みたいなことは考えているのでしょうか。

○教育長（浅沼昭夫君） 教育課程の位置づけということですよ。ちょっと説明して。

○教育部副参事兼指導室長（三田村裕君） お答えします。

各学校で何を狙いとするかとするところによりまして若干異なると思いますが、いずれにしても、総合的な学習の時間の中に位置づける学校もあれば、あるいは単なる行事への参加というような位置づけをすることで、これは実際さまざまでございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の（10）について了承いたします。

◇

◎その他

○委員長（崎山 弘君） それでは、その他ですが、何かございますでしょうか。指導室、どうぞ。

○指導主事（大津嘉則君） 「府中の教育を語る会」について、先ほどご質問がありました昨年度の参加人数につきましては、総数178人になります。内訳につきましては、小学校89人、中学校45人、一般参加者18人、市議会議員2人、教育委員会関係で24人という形になります。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ありがとうございます。

そのほか、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

◇

◎教育委員報告

○委員長（崎山 弘君） それでは、教育委員報告に移ります。各委員の報告をお願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） それでは、齋藤より報告をさせていただきます。

前回の定例教育委員会以降ということですが、8月22日、午後2時30分からでしたが、東京都市町村教育委員会連合会理事会及び理事研修会が東京自治会館で行われまして、

出席をしております。前段の理事会におきましては、議題として管外視察研修会ほか4件の報告事項がございました。また、協議事項としましては、平成26年度は東京都市町村教育委員会連合会の予算等の基礎資料案についてということでございました。そのほか、会務報告及び今後の日程などについての確認がございました。後半の理事研修会につきましては、東京都の多摩教育事務所の儘田文雄指導課長が講師をお務めいただきまして、演題としましては「子供たちの心の育成—いじめ問題への対応」という講演をお聞きいたしました。大変勉強になりました。

次に、8月25日ですけれども、日曜日、郷土の森総合プールで行われました第56回府中市民体育大会夏季大会水泳競技会の開会式に出席いたしました。小雨模様の中ではありましたが、予定どおりに開会式が行われまして、小学生の部から60歳以上の部まで、幅広い市民の皆さんの水泳競技が行われる開会式でございました。

続きまして、その後、郷土の森の博物館に参りまして、小野館長等にご案内いただきまして、特別展の「多摩川にアユが帰ってきた！」の展示の参観などをさせていただきました。アユだけではなくて、多摩川流域に生息する動物の展示などもありまして、夏休みらしくされた展示を見ることができました。

25日の午後ですけれども、府中の森芸術劇場で開催されました第28回府中市青少年音楽祭の合唱の部の演奏を鑑賞いたしました。小学生から大人まで13の団体の合唱は、それぞれ個性のある、またレベルの高い合唱で、大変に感心いたしました。

9月8日日曜日、午前でございすけれども、第56回府中市民体育大会の秋季大会開会式に出席いたしました。あいにくの雨模様で総合体育館での開会式となりましたけれども、その日の早朝、ちょうど2020年のオリンピック開催地が東京に決まったという記念すべき日となりまして、参加していらっしやった市民の皆さんにも思い出に残る開会式になったのではないかと思います。

同じく9月8日日曜日の午後ですけれども、第49回の府中市民芸術文化祭開会式典に出席いたしました。私は、都合により第1部のみの出席となりました。その第1部の中で文化スポーツ部の後藤部長からの報告などもあって、「震災後、多賀城市は今」というレポート、これは市長に随行しての現地取材の報告という内容でありましたけれども、胸を打つものがありました。また、ほかに、府中とウィーンを結ぶ太鼓の響きや府中西高の合唱など、大変レベルの高い出し物を見せていただくことができました。

私からは以上です。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。

8月24日、ドリームホールで開催された府中市青少年音楽祭を鑑賞しております。出演された学校、グループの皆さんの演奏はととても素晴らしいもので、中でも太鼓の響きは、体の芯まで届いてきました。また、明星小学校マーチングバンドの動きのある演奏は、小学生とは思えないほどのクオリティーで、とても感動いたしました。

翌日25日は、総合プールで開かれた市民体育大会夏季大会水泳競技会の開会式に出席いたしました。初めて出席した大会でしたが、小さな小学生から年配の方まで幅広い年齢層の市民が参加されていることに驚きました。参加された選手には、きっと素晴らしい記録が生まれたことと思います。

8月29日、熊野神社古墳西側の遺跡発掘現場で開催された武蔵国府関連遺跡現地見学会を見学してまいりました。古墳横に掘られた発掘現場では、土の層が斜めにはっきりと分かれており、人工的に土砂の採取が行われたことをあらわしているとの解説をいただきました。ふだんは見ることのできない発掘現場を見学し、一時ですが、古代の生活に心を馳せることができました。また、当日も残暑が厳しい1日でしたが、大粒の汗をかきながら、見学に訪れた市民の方々へ丁寧な解説をしてくださった学芸員や作業担当の方々に感謝申し上げます。

8月31日、陸上競技場で開催された「FUCHUゆりーとダンスフェス」を参観してまいりました。残暑が厳しい夏休み最後の日曜日でしたが、参加者たちは、汗だくになりながらダンスを披露してくださり、いよいよ開催が迫った国体の盛り上げ役をしてくださいました。

同日、府中市美術館で開催されている「いたずらばれたん 絵の国は大さわぎ」の展示を鑑賞してまいりました。夏休み最後の日曜日でしたが、多くの児童や保護者の方々が来館されており、いつもの静かな美術館と少し違って、にぎやかで明るい雰囲気にも包まれておりました。展示内容も、鑑賞する人にクイズを出したり、実際に作品をつくることのできるコーナーなど、たくさんの工夫がなされ、夏休みにふさわしい企画になっていたと思います。

9月8日、総合体育館で行われた市民体育大会秋季大会の開会式に出席してまいりました。2020年東京オリンピック開催が決定された年の市民体育大会ですので、参加される市民の皆様には、頑張っすばらしい記録や勝利を目指していただきたいと思います。

同日午後は、ふるさとホールで開かれた府中市市民芸術文化祭開会式に出席してまいりました。開会式は、合唱、ダンス、太鼓、サクスの演奏など、盛りだくさんの構成でとても楽しいものでした。映像による参加団体の紹介では、とても多くの市民の方々が活動されていることや、いろいろな種類の文化活動があることを知ることができました。都合のつくときには、それぞれの発表にも伺ってみたいと思いました。

以上で報告を終わります。

○委員（村越ひろみ君） 村越から報告させていただきます。

8月24日土曜日、府中市青少年音楽祭に、午前中のみでしたが、合唱の部を鑑賞させていただきました。小学生から高校生までの和太鼓の演奏を楽しませていただき、特に府中東高校の演奏は、懐かしく、とても感動しました。それを見た小・中学生は、とてもあこがれの存在になったのではないかと思いますし、よい刺激になったのではないかと思います。そして、オーケストラ演奏、ジャズ演奏もお聞して、さまざまなジャンルの曲を楽しむことができました。また、講評者からのお言葉は、参加者にとってよきアドバイスになったことと思いますし、今後の活動にプラスになるものだと思います。

8月25日、市民体育大会夏季大会水泳競技会の開会式に伺いました。あいにくの雨となりましたが、選手たちは、日ごろの練習の成果を発揮できたのではないかと思います。

その後、郷土の森博物館に行き、「多摩川にアユが帰ってきた！」の展示を見せていただきました。夏休み中、この展示を見た子供たちは、自然の大切さを学んだのではないかと思います。また、館長さんから、郷土の森ができるまでのお話なども伺うことができ、府中の歴史をかいま見ることができました。また、府中にいながら、まだまだ知らないことがたくさんあると思い、勉強していきたいとも思いました。

その日の午後、青少年音楽祭の合唱の部を拝見しに行きました。子供から大人まで、お互い

に鑑賞できる場というのはとてもよいものだと感じました。合唱は耳に優しく響き、どの曲を聞いていても心地よいものでした。2日間にわたって音楽に触れ、高尚な気分を味わいました。そして、この音楽祭を今後も長きにわたり続けていってもらえたらと感じました。

8月31日、スポーツ祭東京2013の1カ月前のイベントとして「FUCHUゆりーとダンスフェスタ」に伺いました。本当に残暑、猛暑の中での開催でしたが、発表者は、笑顔で楽しそうに踊っている姿がすてきでした。小学校でダンスが取り入れられたこともあってか、子供たちの参加も多かったのではないかと思います。暑い中ではありましたが、たくさんの参加者でにぎわっていました。

9月8日、市民体育大会秋季大会の開会式に伺いました。雨のため、急遽、総合体育館での開会式となりましたが、多くの市民の参加のもと盛大に行われました。3カ月近くの間、あちらこちらの会場でスポーツ競技が繰り広げられることと思います。応援したいと思います。

当日の午後、府中市市民芸術文化祭の開会式に伺いました。第1部のみの参加でしたが、高野市長さんに同行された文化スポーツ部長の後藤さんのお話の中で、震災後の多賀城市の様子、現状などを知ることができました。また、本当に多くの文化団体があることも知り、府中は、市民がスポーツと文化に触れることのできるまちだと改めて思いました。

以上です。

○教育長（浅沼昭夫君） それでは、浅沼が、なるべく重複を避けながらご報告いたします。

8月24日、第28回青少年音楽祭合奏の部に出席いたしまして、開会のあいさつを述べてまいりました。市立小・中学校の太鼓クラブ、ウィンドアンサンブルオーケストラなど21団体の出演がありました。それぞれの団体が練習の成果を十分に出し尽くした熱演でございました。

8月25日、水泳競技大会の開会式の後、青少年音楽祭合唱の部を参観いたしました。合奏の部と同様に、小・中学校、そして府中西高等学校、さらには一般の13団体の発表を鑑賞しました。コンクールではなくて合唱祭ということもあり、合唱だけでなく多彩な演出が見られました。それに加えて、専門の先生をお招きして講評を受けるということもありまして、次の改善点や目標を明確にできるという内容も、この音楽祭を有意義なものにしているなと感じました。

次に、9月7日土曜日でございますが、第60回生徒会リーダー研修会の開会式に出席して、あいさつをしてまいりました。その中で、府中市ではなぜリーダー研修会が企画されたか、そして長い間継続されたかということについて、生徒会役員の候補者となる生徒の皆さんにも話をしてきました。

先ほどご報告がありましたけれども、今回のテーマは、「魅力ある学校生活を目指す～みんながで生徒会活動を盛り上げよう」ということでありまして、各グループに分かれて討議した内容の一部は、府中の教育を語る会で小学校の代表とともに発表してもらおう計画になってございます。

その後、生涯学習センターで開催されました第20回生涯学習フェスティバルに出席いたしました。「みんなでつくろう！ひろがる出会いと学びの輪」という趣旨のもとで、生涯学習の成果の展示、あるいはさまざまなイベントと大変充実しておりました。また、「世界の名画を府中に 市民と語る美楽の世界」というテーマで、高野市長、井出府中市美術館長の対談がご

ございました。今までの美術館の活動を振り返りながら、美術鑑賞の楽しみについてお話がございました。来年はミレー展が計画されているということで、多くの入場者を引きつける内容になるものと今から期待してございます。

それから、9月8日、第56回市民体育大会秋季大会の開会式に出席いたしました。市内の小・中学生の活躍の場をつくっていただいていること、さらには、校長先生、副校長先生方がこの開会式に大変多く出席いただきましたことにも感謝しております。

それから、その午後には第49回市民芸術文化祭開会式に出席いたしました。生涯学習フェスティバルもそうでしたが、実行委員会で企画運営されている点が大変よかったなという印象を受けました。この文化祭への参加団体は、各文化センターの実施グループを1つと数えると、合わせて39あるそうで、市内で熱心に活動されていることがわかりました。先ほども触れましたけれども、内容が大変盛りだくさんで、充実した時を過ごすことができました。

この一連のイベント等に参加しました感想を少し申し述べます。スポーツにしても文化の面におきましても、その活動のためには、その基盤となる場所がまず必要だと思います。文化センター、生涯学習センター、美術館、芸術劇場、グリーンプラザなど、加えて地域体育館やプール、庭球場など、こういった施設が大変充実している府中市であるからこそ、先ほど申し述べた活動が市民の中に定着し、熱心に行われているということを改めて実感いたしました。

さらには、その活動を長く継続していく中で、進め方等も大変洗練されてきているというような印象を持ちました。市民が可能な限り自主的に運営していることや手法も大変特徴的で、目立ったなという印象を持ちました。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) それでは、崎山から報告いたします。

前回の教育委員会定例会の後、私は、日本外来小児科学会など小児科医としての仕事が重なったため、市民体育大会夏季大会などに出席できず申しわけございませんでした。

他の委員の皆様と一緒に活動ではございませんが、学校医としてセカンドスクール前日検診のため、9月6日に武蔵台小学校に伺いました。子供たちは夏休み明けで、みんな元気で、とても楽しみにしている様子がうかがえました。校長先生にお話を聞いたところ、セカンドスクールでは、時間的にゆとりのある日程を組んで、児童並びに先生の負担を軽減することを配慮しているとのことでした。やはり無理をすると事故につながりかねないですし、先生方は4泊5日、実質的には連続100時間を超える勤務となるわけですから、適切な対応と思いました。

9月9日から矢崎小学校、武蔵台学校と一緒に八ヶ岳に行っています。校長先生が不在となると、副校長先生はふだん以上の仕事をこなすこととなります。いずれの学校においても、八ヶ岳も府中も無事に過ごせるように願っております。また、私も医療相談用の携帯電話を持ち歩いて、少しでもお役に立てればと思っております。

以上です。

それでは、これで平成25年第9回府中市教育委員会定例会を閉会いたします。

お疲れさまでした。



午後2時34分閉会